

あまトリ 2025 審査員 紹介

浅田 政志



写真家。1979 年三重県生まれ。日本写真映像専門学校研究科を卒業後、スタジオアシスタントを経て独立。2009 年、写真集「浅田家」（2008 年赤々舎刊）で第 34 回木村伊兵衛写真賞を受賞。2020 年には著書を原案とした映画『浅田家！』が公開された。

小林 哲朗



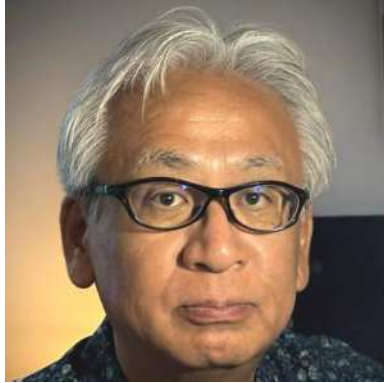
写真家。1978 年兵庫県生まれ。尼崎市在住。主な被写体は工場、町ねこ、路地、地下空間、廃墟など身近に潜む異世界をテーマに撮影。カメラ誌への寄稿、写真教室の講師、フォトコンの審査員、トークイベントなども積極的に行う。「おるね 路地裏猫さがし BOOK」「夜の絶景写真工場夜景編」「夜の工場百景 ドローン空撮写真集」など著作物多数。

森 誠



写真家。1971 年京都府生まれ。幼少の頃から旅好きの鉄道写真家、広告写真家。鉄道会社 TVCM や JR 時刻表、カメラメーカー数社のカタログカットを撮影。日田焼きそば好き。ニコンカレッジ講師、朝日カルチャー講師。公益社団法人日本広告写真家協会（APA）正会員、日本鉄道写真作家協会（JRPS）正会員、シュピーゲル写真家協会 会員

吉川 直哉



写真家。1961 年奈良県生まれ。10 歳で天体写真を撮り始め写真の魅力にハマる。大阪芸術大学で写真を学び、大学院で「写真の教育」を研究。国内外各地で個展、芸術祭、子どものワークショップなど多数。写真集に「Family Album」「はっぴい ドッグ」など。趣味は「カメラのおもちゃ」のコレクション。

三宅 奈緒子



ラジオ・パーソナリティ。1979 年長崎県五島列島生まれ。FM あまがさき時代から「みやけなおこと尼人達」という取材コーナーを続け、街で出会った尼人と尼崎の風景写真を展示する写真展を毎年開催している。写真は中学からの趣味で独学だが尼崎愛だけは深い。みんなのあま咲き放送局の放送局長。

若狭 健作



都市・地域プランナー。1977 年大阪府生まれ。公園、広場、図書館や商店街など様々な空間に、人々が集い活動するきっかけと仕組みづくりにかかわる。尼崎ではフリーマガジン「南部再生」の編集発行、杭瀬中市場で飲食店「好吃食堂」やたまれる古本屋「二号店」の運営など。㈱地域環境研究所代表取締役。